

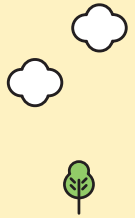


まちフォト

5/9

第83期将棋名人戦に向けた将棋の交流授業

いつかは宇佐から将棋の名人誕生も！？



北馬城小学校で、4・5年生を対象とした将棋の交流授業が行われました。第83期名人戦七番勝負第4局の宇佐神宮対局を盛り上げ、将棋に興味を持ってもらおうと、地域に住む松本隆さんら将棋好きな4人の方を講師に迎え、アドバイスを受けながら対局を楽しみました。児童たちは、事前に将棋のルールを学び、休み時間に将棋アプリなどで練習した成果を発揮し、勝敗に一喜一憂しながら「相手の手を想像して、自分の手を考えるのは難しいけどおもしろい」と話しました。



4/25

駅館川稚アユ放流

澄んだ川を元気に泳ぐ春の風物詩

さんごう

宇佐山郷淡水漁業協同組合と駅館川漁業協同組合が新貝川、駅館川に約3万匹の稚アユを放流しました。各漁協では、カワウや外来魚による食害対策として早朝の河川見回りや花火による追い払いなどを行い、資源保護に努めています。駅館川漁業協同組合の酒井秀明組合長は「毎年、田植えが始まる前のきれいな川に放流しています。カワウに食べられずに元気に育ってほしい」と泳ぐ稚アユを見守りました。

4/23

千財農園 藤の花

幻想的な花のカーテンに甘い香り

千財農園の藤園で、250本の藤が見頃を迎え、市内外から多くの方々が訪れました。2400坪の藤棚には紫やピンク、白のグラデーションが美しい、花のトンネルが広がり、風に乗って広がる香りも心地よく、訪れた人たちを魅了していました。敷地内には、新緑の茶畑や元気に泳ぐ鯉のぼりも見え、毎年、春から初夏へと季節の変化を感じられます。園内では、写真撮影やソフトクリームを楽しむ姿が見られました。





5/2 長洲神社葵祭 伝統の祭りに町ごと弾む♪

5月3日(土)～5日(月)、長洲神社 葵祭が開催され、2日(金)は山車の顔見世がありました。「コンコンチキリン」と太鼓やかねで軽快なリズムを響かせながら山車が長洲地域を練り歩く葵祭は、伝統的な風物詩となっています。4日(日)には、37年ぶりに巡行した東浜地区の山車を含めた4基が長洲漁港に集結しました。寄せ踊りや花火の打ち上げなどが行われ、県内外から訪れた多くの見物客で地域全体がにぎわっていました。

4/26 安心院葡萄酒工房「樽開き 2025」 ワインと楽しむ優雅なひととき

4月26日(土)、27日(日)、安心院葡萄酒工房で樽開きが開催され、会場は県内外からの多くの来場者でにぎわいました。令和6年に収穫された安心院産ブドウで仕込んだ樽抜きワインの販売のほか、ミュージシャンの演奏やソムリエのトークショー、ワインに関する施設や展示を巡りながらゆっくりと園内を散策できるスタンプリーも行われ、世代を問わず多くの方が優雅な空間を楽しんでいました。



5/3 第64回全国大学選抜相撲宇佐大会 精鋭たちが宇佐の地に大集結！

全国から選抜された12大学が集結し、第64回全国大学選抜相撲宇佐大会が市総合運動場で開催されました。今回から一般入場を無料開放するなど、新たな形式での開催となりました。会場には県内外から多くの相撲ファンが詰めかけ、勝負が決するたびに大きな拍手が送られていました。中津市からの来場者は「毎年来ている。この大会から将来の大横綱が出てくれば、うれしい」と話していました。

5/2 宇佐神宮 西大門通り初め式 青空の下、鮮やかな朱塗の門

宇佐神宮で、昭和の大造営以来の大規模改修を終えた西大門（県指定有形文化財）の通り初め式が行われました。上宮の入口に立つ木造の門は、桃山文化の華麗な唐破風の屋根と随所に鮮やかな色彩と細かな彫刻が施された、朱塗りの美しい門です。普段は脇門のみを開放し、特別な日にしか開放されないため、改修を心待ちにしていた多くの参拝者が新緑に映える美しい西大門をくぐっていました。

